

## I 第31週の発生動向 (2012/7/30~2012/8/5)

1. インフルエンザについては、第30週に続き東地方+青森市保健所管内で、迅速診断キットによりA型2人の報告がありました。
2. 手足口病については、五所川原保健所管内において新たに**警報**が発令され、東地方+青森市保健所管内では第21週から、弘前保健所管内では第28週から、**警報**が継続しています。

## II 第31週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	2	0.2											2	0.0	0			2	0.2
(74) RSウイルス感染症	2	0.3	3	0.3	4	0.4	2	0.4	9	1.5			20	0.5	7			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱	3	0.4	3	0.3					1	0.2	2	0.5	9	0.2	-2			3	0.4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	3	0.3	13	1.4	1	0.2	3	0.5	1	0.3	26	0.6	-12			5	0.6
(77) 感染性胃腸炎	20	2.5	4	0.4	2	0.2	4	0.8	4	0.7	10	2.5	44	1.1	2			20	2.5
(78) 水痘	9	1.1			5	0.6			6	1.0	2	0.5	22	0.5	-8			9	1.1
(79) 手足口病	81	10.1	120	13.3	10	1.1	34	6.8	15	2.5	5	1.3	265	6.5	-20			81	10.1
(80) 伝染性紅斑	2	0.3	1	0.1	1	0.1							4	0.1	1			2	0.3
(81) 突発性発疹	7	0.9	2	0.2	4	0.4	3	0.6	10	1.7	2	0.5	28	0.7	12			7	0.9
(82) 百日咳									1	0.2			1	0.0	0				
(83) ヘルパンギーナ	17	2.1	42	4.7	5	0.6	7	1.4	11	1.8	4	1.0	86	2.1	30			17	2.1
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.4	3	0.3	4	0.4	3	0.6	5	0.8	1	0.3	19	0.5	3			3	0.4
眼科															0				
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎			2	0.7	2	1.0	1	1.0					5	0.5	-1				
基幹															0				
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			3	3.0	9	9.0						3	3.0	15	2.5	8			
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、五所川原1人 (2012年計:264人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、上十三1人 (2012年計:6人)
- (55) レジオネラ症(五類全数把握疾患)：五所川原1人 (2012年計:3人)
- (65) ジアルジア症(五類全数把握疾患)：青森市1人 (2012年計:1人)

## IV 病原体検出情報

- ・病原体検出情報は、ありませんでした。

# 感染症の窓

## 手足口病 (五類定点把握疾患)

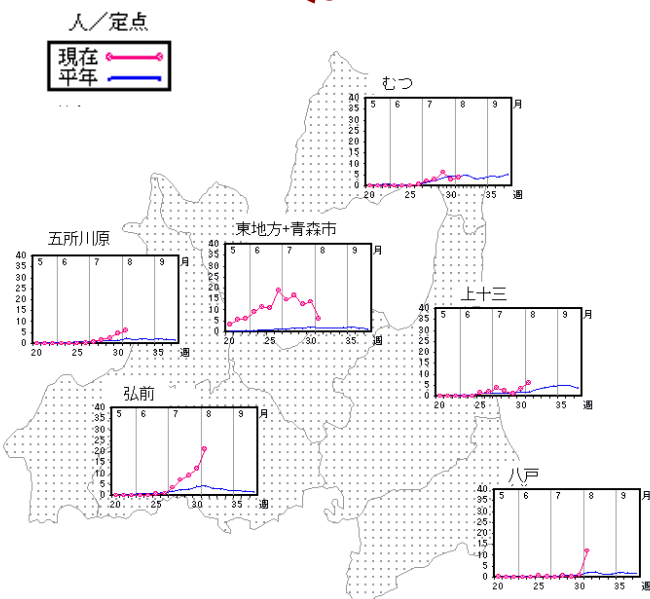


図 保健所別定点あたり患者報告数推移

手足口病は、口腔粘膜、手の平、足の裏等に出現する2~3mmの水疱性発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。病原体は、エンテロウイルス属のコクサッキーA16 (CA16)、CA10、エンテロウイルス71 (EV71) などです。

4歳以下の幼児を中心に夏季に流行します。3~5日の潜伏期間後に水疱性発疹が出現し、発疹は通常3~7日で消退し、かさぶたとなることはなく、予後は良好です。稀に髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系合併症の他、心筋炎、急性弛緩性麻痺を生ずることもあります。

感染経路は、主として咽頭から排泄されるウイルスによる飛沫感染、便中に排泄されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの感染等です。便中へのウイルスの排泄は長期間にわたり感染源となります。

予防対策は、患者との接触を避け、手洗いの励行等ですが、患者あるいは回復者には、特に排便後の手洗いを徹底させることが大切です。(参考：IDWR「感染症の話」)

2012年第29週の定点あたり患者報告数は、新潟県、福井県について青森県が多く、第31週の保健所管内別では、むつを除く保健所管内で平成(過去10年間の平均値)より多くなっています(図)。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（届出数は速報値です）単位：人 2012年第12週～第30週

c	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H24.3.19 ~ H24.3.25						
13	H24.3.26 ~ H24.4.1		梅毒(1人)				
14	H24.4.2 ~ H24.4.8						
15	H24.4.9 ~ H24.4.15			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
16	H24.4.16 ~ H24.4.22						
17	H24.4.23 ~ H24.4.29						
18	H24.4.30 ~ H24.5.6						
19	H24.5.7 ~ H24.5.13						
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	腸管出血性大腸菌感染症1人 E型肝炎1人	つつが虫病1人				
21	H24.5.21 ~ H24.5.27		梅毒1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					
29	H24.7.16 ~ H24.7.22						
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		急性脳炎1人		つつが虫病1人		

VI 結核(二類全数把握疾患)

単位：人

2012年第12週～第30週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
12	H24.3.19 ~ H24.3.25		1	3		5	1
13	H24.3.26 ~ H24.4.1	1	6	3	1	3	
14	H24.4.2 ~ H24.4.8	1	2	4		3	
15	H24.4.9 ~ H24.4.15		4	1	2	1	
16	H24.4.16 ~ H24.4.22	5	2	4		1	
17	H24.4.23 ~ H24.4.29	3		7		1	
18	H24.4.30 ~ H24.5.6	2	1	7	1		
19	H24.5.7 ~ H24.5.13	3	1				
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	1	1	2	1	2	1
21	H24.5.21 ~ H24.5.27	2	1	2	1	2	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		1	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	3		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	7	2	1	
29	H24.7.16 ~ H24.7.22		1	3	2		
30	H24.7.23 ~ H24.7.29		2	2			

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

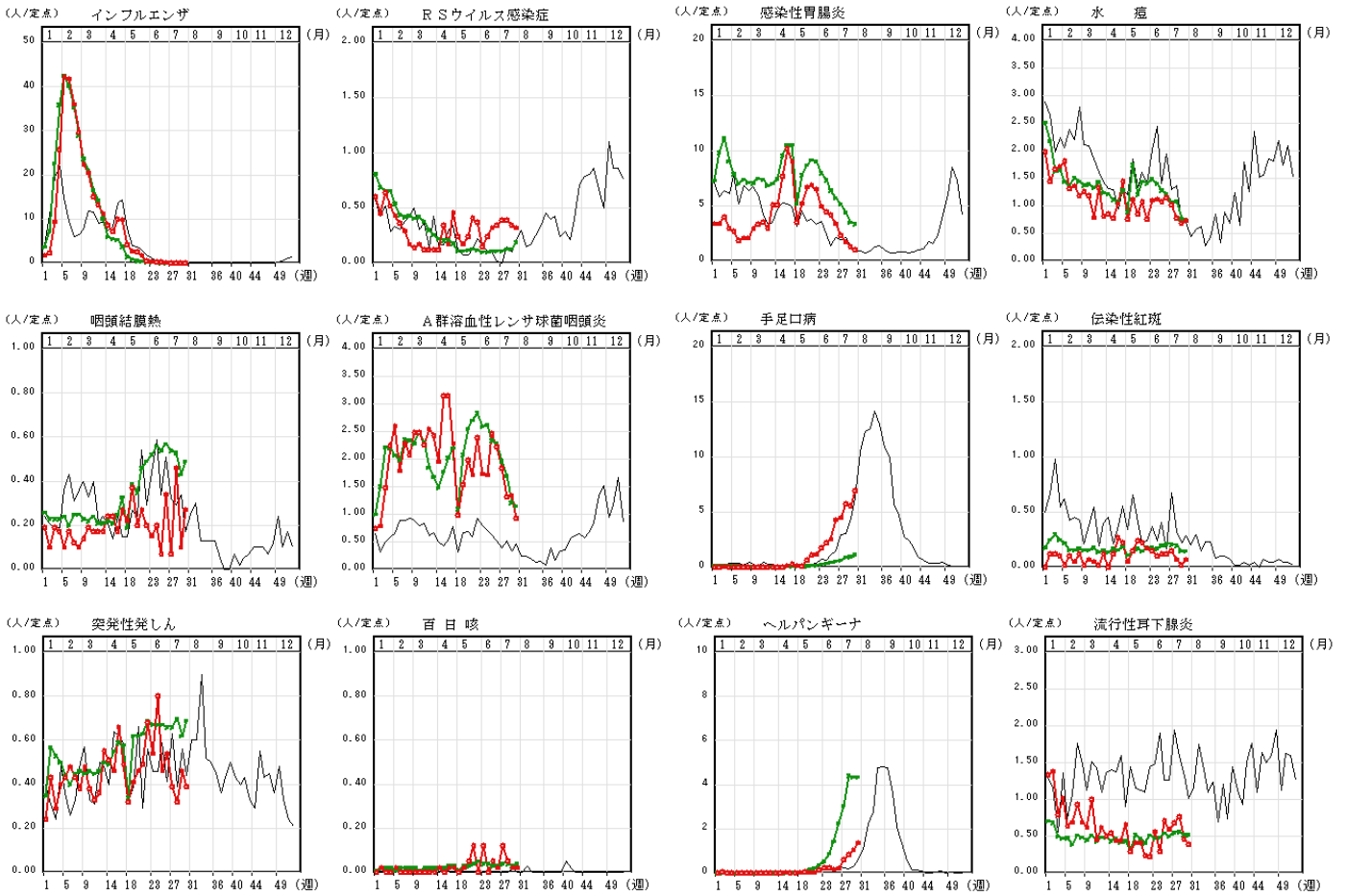
（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2012年8月7日9時00分集計速報値

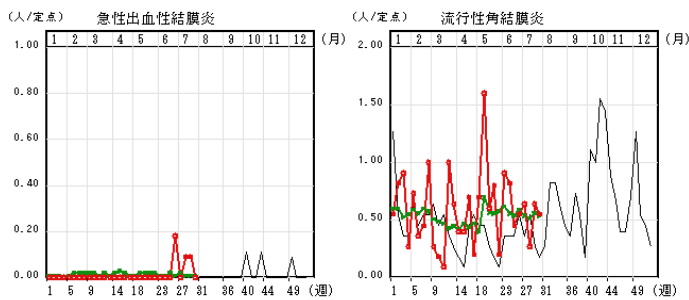
	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	
全国	17022	3	116	1440	15	11	83	116	6	5	1	3	193	83	51	3	39	5	497	8	
青森県	261	0	0	6	0	0	1	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3	0
	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト-ヤコブ病	創傷型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん							
全国	495	127	240	6	107	154	795	32	7	483	60	55	973	206							
青森県	2	0	3	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0							

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、×—×は2012年全国

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2012年第30週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2012年第30週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2012年第30週

